

平成 14 年度第 1 回理事会議事録

日時 平成 14 年 4 月 8 日 (月) 7:00~7:40

場所 帝国ホテル「桜の間」

出席予定者

会長：荒木 勤

副会長：中野 仁雄、野澤 志朗

理事：石川 睦男、伊藤 昌春、植木 實、岡村 州博、落合 和徳、工藤 尚文、
佐藤 章、佐藤 郁夫、関谷 宗英、武谷 雄二、田中 憲一、玉舎 輝彦、
寺尾 俊彦、永田 行博、西島 正博、藤井 信吾、丸尾 猛、村田 雄二

監事：青野 敏博、佐藤 和雄、藤本征一郎

名誉会員：久保 武士、坂元 正一、清水 哲也、白川 光一、高橋 克幸、滝 一郎、
永田 一郎、Yoon Seok Chang

幹事長：塚崎 克己

幹事：泉 章夫、岡本 愛光、小林 浩、古山 将康、斎藤 克、佐川 典正、
澤 倫太郎、清水 幸子、高桑 好一、早川 智、阪埜 浩司、平川 俊夫、
藤森 敬也、村上 節、矢野 哲、吉田 幸洋

総会議長：高山 雅臣

総会副議長：小柴 壽彌、松岡幸一郎

総会幹事：片瀬 高、野崎 雅裕、佐藤 昌司、月森 清巳、江上 りか

事務局：飯島正一郎、荒木 信一

午前 7 時 00 分、理事総数 23 名中、21 名出席、定足数に達したので、荒木会長開会を宣言。

中野副会長、議長となり、議事録署名人として、会長及び落合和徳、佐藤郁夫の両常務理事の計 3 名を指名し承認を得て議事に入る。

冒頭、中野副会長から総会幹事として片瀬 高、野崎 雅裕、佐藤 昌司、月森 清巳、江上 りかの 5 名の委嘱について諮り承認を得たので、総会幹事 5 名の入場着席が行われた。

協議事項

1. 副会長の業務分掌について

1) 倫理委員会委員長について

中野副会長から、現 野澤志朗倫理委員会委員長の留任を求める発言があり、協議の結果これを承認した。

2) 学会のあり方検討委員会委員長・学会改革推進本部長について

理事会内委員会での協議項目の中で協議することにした。

2. 理事業務分担の一部変更について

中野副会長から藤井理事の副会長就任に伴い、同理事の分担業務、学術と会計について荒木会長に委嘱したいとの提案があり、協議の結果これを承認した。

3. 理事会内委員会について

1) 学会のあり方検討委員会、学会改革推進本部について

中野副会長から、学会のあり方検討委員会中野仁雄委員長及び学会改革推進本部中野仁雄本部長の後任として、藤井信吾新副会長を推挙したいとの提案があり、協議の結果これを承認した。

2) 2007AOCOG 誘致準備委員会について

中野副会長から 2007AOCOG 誘致準備委員会中野仁雄委員長の後任として、村田雄二渉外担当理事を推挙したいとの提案があり、協議の結果これを承認した。

4. 幹事業務分担の一部変更について

塚崎幹事長から、副会長、理事の担当業務の一部変更と、幹事の仕事の均等化の観点から、幹事業務の一部変更を行う旨、配付された資料（平成 14 年度役員、幹事長、幹事及び総会議長、副議長氏名（案））に基づき説明があった。具体的には、会計幹事の澤倫太郎君が阪埜浩司君と交替し、学術幹事として澤倫太郎君が加わること、また、編集主務幹事が古山将康君から高桑好一君に交替になること、社保幹事の阪埜浩司君が清水幸子君に交替になること、倫理の主務幹事が澤倫太郎君から阪埜浩司君に交替になることである。これらにつき協議の結果承認した。

5. その他委員会委員の変更及び追加委嘱について

塚崎幹事長から学会のあり方検討委員会委員として、新たに麻生武志君を委員として追加委嘱したいとする提案があった。本追加委嘱に関し**中野副会長**から「若手の小児科医、産婦人科医が少ない現状が何に起因するのか調べる厚生労働省の研究班が立ち上がることになった。そこに参加される予定の麻生先生に委員として加わっていただくこととした。また、女性会員の入会が男性会員入会を上回っている現状に鑑み、女性会員への対応のあり方への意見もいただきたいと考えている」との補足説明があり、本件協議の結果これを承認した。

また、塚崎幹事長から委員の変更について、学会のあり方検討委員及び学会改革推進本部委員として参加していた平川俊夫君が刈谷方俊君に交替すること、倫理委員会生殖医療部会の登録・調査小委員会委員として斉藤英和君を追加委嘱すること、更に IS 委員会委員の山田秀人君が青木大輔君と交替することが提案され、協議の結果承認した。

6. その他

(1) 平成 14 年度諸会議日程（第 4 回理事会承認済）

今後の諸会議の日程について確認し、協力を求めた。

(2) 中野副会長から平成 14 年度事業遂行に当たっての課題提起について

中野副会長 から下記課題提起があった。

事業計画と予算編成方式の基盤化について

平成 14 年度予算策定について試行した各部署からの事業計画と、予算の概算要求とその査定を行う予算編成方式を平成 14 年度も実施したい。具体的には、今年度 12 月中に各部署から事業計画及び概算要求を提出してもらい、明年 1 月に査定を行うという手続きを踏みたい。

なお、予算算定に当たっての本方式は中期目標・計画推進のため基盤化したい。

各種委員会の再請等によるスリム化及び課題の合理的処理について

委員会の改選年度に当たり、委員会委員のスリム化と併せ、委員会活動の課題選定方式を合理化できないかと考えている。

つまり、本年度の秋口には各委員会にてワークショップ等を開催し、早めに翌年度の課題選定に当たり、1 月にそれを事業活動として予算化できる方式を考えている。そうなれば、タイムリーな課題に対応する効率的な委員会活動が可能と考えている。

合意形成過程の効率化について

現状、通信会議は各役員、委員とも不得手という感じは否めない。通信会議向けのインフラ整備を図りつつ活発化していきたい。

また、各担当常務理事の専決制をより鮮明に打ち出し、合意形成過程の合理化に努めたい。

中野副会長からの本課題提起 に関し、**佐藤郁夫理事** から「来年度予算策定に当たっても平成 14 年度予算策定方式を実行したい」との意見、また、 に関し、**藤井理事** から「中野副会長の方針を踏まえた、委員会の対応としたい」との意見、更に に関し、**落合理事** から「平成 14 年度 7 月、12 月の 2 回にわたり通信会議が行われる予定である。他の会議もどのような通信会議の手段をとれば効率的な会議を行い得るのかの検討をしたい」との意見が出された。

(3) 日韓合同カンファランスについて

中野副会長から日韓合同カンファランスを IW に位置づけ、学術集会開催期間中の平成 15 年 4 月 14 日に開催することが報告された。

(4) 佐藤監事からの収益事業取組みへの提示について

佐藤監事 から「将来的な本会の収入増加の方策として、収益事業への取組みを考えてほしい。その場合、法的、会計的にどのような処理、受皿が必要なのか検討してほしい」との提案が出された。

本件に関し、**中野副会長** から「貴重なご提示である。現在、運営企画委員会内収益事業小委員会でも検討中と思うが、具体化に向けて更なる議論の深化を行ってほしい」との意見、**落合理事** から「運営企画委員会内小委員会での議論を進めたい」との補足意見が出された。

本件について、中野副会長の提案で第 2 回理事会で更なる協議を行うこととした。

(5) 荒木会長から学術講演会について

荒木会長 から現在進行中の学術講演会につき「各セッションの進行状況につき分かり易くするなどの細かい工夫を凝らしたところも見ていただきたい。一方、派手になった面もあると思うので、改革への反面教師として受け取って、次回以降の学術集会に活かしてほしい。ついては今回の学術集会全体に関し忌憚のない評価をいただきたい」との要望があった。

以上